

計画項目番号	31	計画担当部課	環境水道部 環境課			
基本的方策	II 行政施策の再構築	計画作成部課	環境水道部 環境課			
重点項目	ii 全市有施設の将来的方針の検討	計画関係部課	環境水道部 環境課			
計画項目名	し尿処理施設の統合					
現状と課題 (取組の必要性) 取組項目の概要 (具体的手法)	<p>現在、北吉城クリーンセンター（平成9年度稼働）とみずほクリーンセンター（平成15年度稼働）でし尿処理（汚泥再生処理）を行っている。</p> <p>下水道の普及と人口減少等により両施設の搬入量（処理量）が減少してきているとともに、施設の老朽化も進んでいる。なお、みずほクリーンセンター（汚泥再生処理 40kL/日）には、今後余裕が生じてくる見込みとなっている。</p> <p>このため、北吉城クリーンセンターでの処理業務を止め、みずほクリーンセンター（汚泥再生処理）への処理業務の集約化を図る。</p> <p>①地元（三川原区等の同意）の協議 ②下水道汚泥処理施設を含めた管理運営について関係市との協議 ③関連団体、委託先業者との協議 ④みずほクリーンセンター（全体）の老朽化対策 等々が必要</p>					
取組による効果 (具体的目標)	<ul style="list-style-type: none"> 各種経費の軽減 施設の有効利用と適正な管理及び運転 					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	搬入量の推計と課題等の抽出	<ul style="list-style-type: none"> 課題の検討 老朽化対策の計画作成 地元との協議 関係市との協議 	<ul style="list-style-type: none"> 関連団体との協議 （みずほ）基本構想の策定 	<ul style="list-style-type: none"> （みずほ）長寿命化計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> （みずほ）基本設計書の作成
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 搬入量の推計数値算定 課題抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 地元との協議を平成27年の運営協議会の中で提示し、同意を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 委託先業者、関連団体（3者契約の対象者）との協議 	長寿命化計画の完成	基本設計の完成
	目標の説明 (数値目標の場合は根拠)		<ul style="list-style-type: none"> 地元でも結論が早急には出せない課題なので、継続協議（理想は平成27年度末を目標） 	<ul style="list-style-type: none"> 上記2者との協議完了（3月末まで） 地元との協議完了（3月末まで） 		
実 績	取組内容					
	目標に対する結果					
	結果の説明 (数値結果の場合は根拠)					
評 価	評価					
	評価の理由及び説明					
見直し	計画改良が必要な点、翌年度以降計画の何を見直したか					
備考 (特記事項)						

計画項目番号	32	計画担当部課	環境水道部 環境課			
基本的方策	IV 適正な財政運営	計画作成部課	環境水道部 環境課			
重点項目	i 計画的な予算執行	計画関係部課	環境水道部 環境課			
計画項目名	プラスチック製容器包装・ペットボトル減容業務の直営化					
現状と課題 (取組の必要性) 取組項目の概要 (具体的手法)	平成9年の容器リサイクル法施行により、平成14年度からプラスチック製容器包装・ペットボトル減容業務を市内業者に業務委託している。業務委託費が高額であるため、これまでも市内業者と直営化することについて協議を重ねてきたが、合意に至っていない。このため、リサイクル施設の建設統合に伴い、当該業務委託を廃止し（直営化）、業務の一元化を図る。 ①廃棄物処理計画・地域計画を変更し、施設の実施設計（平成25年度） ②施設建設（平成26年度） ③収集・受け入れ体制等の見直し（平成26年度）					
取組による効果 (具体的目標)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の一体的管理による各種経費の削減 施設運営の効率化と適正管理及び廃棄物の適正処理 					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	・リサイクル施設建設 ・各種受け入れ体制の検討と整備	・施設稼働（施設の直営）	・施設稼働	前年度に同じ	前年度に同じ
	目標	・受け入れ体制の整備	・直営による適正なごみの処理 ・効果額25,000千円	前年度に同じ	前年度に同じ	前年度に同じ
	目標の説明 (数値目標の場合は根拠)	平成25年度実績と平成27年度予算を比較し、約△25,000千円の経費を削減。（査定前予算）	○処理量 188 t (飛騨市リサイクル施設整備基本計画 平成25年7月による。)	前年度に同じ	前年度に同じ	前年度に同じ
実 績	取組内容					
	目標に対する結果					
	結果の説明 (数値結果の場合は根拠)					
評 価	評価					
	評価の理由及び説明					
見直し	計画改良が必要な点、翌年度以降計画の何を見直したか					
備考 (特記事項)						

計画項目番号	33	計画担当部課	環境水道部 環境課			
基本的方策	Ⅳ 適正な財政運営	計画作成部課	環境水道部 環境課			
重点項目	i 計画的な予算執行	計画関係部課	環境水道部 環境課			
計画項目名	分別の徹底によるゴミ焼却の減量化と適正焼却運転の実施					
現状と課題 (取組の必要性) 取組項目の概要 (具体的手法)	<p>現状として、粗大ゴミ処理等は煩雑で経費がかかる（不燃部分の分離、切断・破碎等の前処理と運搬）ことに加え、使用可能なものがゴミとして排出されている。また、ゴミ袋の種類として、可燃ゴミ袋(3種類)、紙類専用袋、プラ製容器包装専用袋があるが、可燃ゴミに比して、紙・プラの収集量が伸び悩んでいる状況にある。</p> <p>このため、粗大ゴミに関しては、年に数回リサイクル市などを催す、一時的に施設に保管し、条件を満たす排出物については、希望者に引き取ってもらう等の対策を講ずる。また、ゴミ袋に関しては、リサイクル（紙・プラ）と焼却（可燃ゴミ）の料金差を大きくする等、それぞれの袋の料金体系の見直しを図る。</p> <p>また、可燃ごみに乾電池等の不適物が混入している状況も見受けられるため、今一度、ゴミ分別の徹底を図るべく地域説明会等開催と保健衛生業務推進協議会等との連携などの仕組みづくりを行う。</p>					
取組による効果 (具体的目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・処理経費の削減 ・可燃ゴミの減量化 ・焼却施設の排出ガスの減少と適正運転管理 					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル施設建設 ・受け入れ体制・実施体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設稼働 ・リサイクル施設の直営化 ・粗大ゴミの状況調査・分析 ・紙製容器包装、プラ製容器包装の袋料金検討 ・地域説明会等の実施 ・保健衛生推進協議会等の仕組み・活動の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル施設適正管理 ・使用できる粗大ゴミの希望者による再利用（リサイクル市等の開催） ・紙製容器包装、プラ製容器包装の新袋料金体系の運用 ・保健衛生推進協議会等の活動 	前年度に同じ	前年度に同じ
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル施設受入体制の整備 ・リサイクル処理フローの確定 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル経費の削減 平成25年度実績（分散型）と平成27年度予算（集合型）の差額＝効果額 △25,000千円 ・地域説明会の開催 20回 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル市の開催1回 ・保健衛生推進協議会等研修会の開催1回 	前年度に同じ	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ゴミ処理量 7,758t(一般廃棄物処理基本計画) ・一人当たりごみ量 平成25年度時点 842g→平成30年度時点 826g
	目標の説明 (数値目標の場合は根拠)		<ul style="list-style-type: none"> ・地域毎に説明会を開催する。 			(1人当たりごみ量目標数値は、一般廃棄物処理計画P122による。)
実 績	取組内容					
	目標に対する結果					
	結果の説明 (数値結果の場合は根拠)					
評 価	評価					
	評価の理由及び説明					
見直し	計画改良が必要な点、翌年度以降計画の何を見直したか					
備考 (特記事項)						

計画項目番号	34	計画担当部課	環境水道部 環境課			
基本的方策	IV 適正な財政運営	計画作成部課	環境水道部 環境課			
重点項目	i 計画的な予算執行	計画関係部課	環境水道部 環境課			
計画項目名	各種ゴミ袋料金の見直し					
現状と課題 (取組の必要性) 取組項目の概要 (具体的手法)	市のゴミ袋には、可燃ゴミ袋(3種類)、紙類専用袋、プラ製容器包装専用袋がある。この中で、可燃ゴミに比して、紙・プラの収集量が伸び悩んでいる。 このため、リサイクル(紙・プラ)と焼却(可燃ゴミ)の料金差を大きくする等、それぞれの袋の料金体系の見直しを図ることで、可燃ゴミの減量化を目指す。					
取組による効果 (具体的目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ゴミの減量化 ・焼却施設の排出ガスの減少と適正運転管理 					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	・状況把握	・リサイクル施設稼働 ・保健衛生業務推進協議会等での検討	・リサイクル施設稼働 ・袋料金の改定に向けた説明会の開催、改定実行	・リサイクル施設稼働	前年度に同じ
	目標	・各種データの作成	・紙製容器包装、プラ製容器包装について、料金等検討	・新料金体系の運用開始	前年度に同じ	前年度に同じ
	目標の説明 (数値目標の場合は根拠)					
実 績	取組内容					
	目標に対する結果					
	結果の説明 (数値結果の場合は根拠)					
評 価	評価					
	評価の理由及び説明					
見直し	計画改良が必要な点、翌年度以降計画の何を見直したか					
備考 (特記事項)						

計画項目番号	35	計画担当部課	環境水道部 環境課			
基本的方策	IV 適正な財政運営	計画作成部課	環境水道部 環境課			
重点項目	i 計画的な予算執行	計画関係部課	環境水道部 環境課			
計画項目名	市営墓地の無縁仏の合葬					
現状と課題 (取組の必要性) 取組項目の概要 (具体的手法)	市内の市営墓地において、管理人がないと思われる墓が出始めている状況にある。古川町内の市営墓地は管理料を毎年徴収しているが、後継人がない墓地があるため未集金が発生し始めている。また、神岡町内の市営墓地は空きがないものの、管理されていない墓も見受けられることから、整理することが必要となっている。 このため、無縁仏は必要な手続をとったうえで合葬し、市営墓地の整理を行う。					
取組による効果 (具体的目標)	<ul style="list-style-type: none"> 市営墓地の適正管理（荒廃防止等） 無縁仏の墓地を整理することで、市営墓地の有効利用を図る。 					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	・無縁仏の調査方法の検討	・無縁仏の調査・確定 ・法手続きの検討	・手続きの実施	前年度に同じ	・整理後の新区画の募集の 検討（墓石の有無・処分者 の有無）
	目標	・無縁仏調査開始	・相続人の調査完了 N=248区画	・無縁墓地の公告	前年度に同じ	・新区画希望者の募集開始
	目標の説明 (数値目標 の場合は 根拠)					
実 績	取組内容					
	目標に 対する結果					
	結果の説明 (数値結果 の場合は 根拠)					
評 価	評価					
	評価の理由 及び説明					
見 直 し	計画改良が 必要な点、 翌年度以降 計画の何を 見直したか					
備 考 (特記事項)						

計画項目番号	36	計画担当部課	環境水道部 環境課			
基本的方策	IV 適正な財政運営	計画作成部課	環境水道部 環境課			
重点項目	i 計画的な予算執行	計画関係部課	環境水道部 環境課			
計画項目名	死亡者が飛騨市民以外の火葬使用料の有料化					
現状と課題 (取組の必要性) 取組項目の概要 (具体的手法)	現在、飛騨市民が火葬施設使用者又は死亡者である場合、火葬施設使用料は無料となっている（死亡者が市民でなくても、使用者が市民であれば無料）。 このため、死亡者が市民ではない場合（施設入所者等の特例を除く。）は、有料とする。					
取組による効果 (具体的目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料の増加（件数が同じ場合） ・住民サービスの明確化 					
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計 画	取組内容	・事例の検討と料金の検討	・事例の検討と料金の検討	・料金の改定	新体系での運用	前年度に同じ
	目標	・料金設定案策定	・庁内合議、区長会へ打診 ・料金改定の条例改正	・新料金体系での運用開始	前年度に同じ	前年度に同じ
	目標の説明 (数値目標 の場合は 根拠)		・区長会の合意を平成27年 12月までに得る。			
実 績	取組内容					
	目標に 対する結果					
	結果の説明 (数値結果 の場合は 根拠)					
評 価	評価					
	評価の理由 及び説明					
見 直 し	計画改良が 必要な点、 翌年度以降 計画の何を 見直したか					
備 考 (特記事項)						